

高岡テクノドーム別館(仮称)新築工事
基本設計業務のための参考資料

令和7年5月

富山県

目 次

1	はじめに	1
2	機能の拡充等の方向性（概要）について	3
3	高岡テクノドームの機能の拡充等の検討の背景・必要性	4
	（1）高岡テクノドームの概要	4
	（2）高岡テクノドームの利用状況	5
	（3）高岡テクノドームの周辺地域の環境変化	7
	（4）新たなニーズ等への対応	8
4	機能の拡充等の方向性について	9
	（1）展示に係る施設・機能の充実	9
	（2）集客・交流に係る施設・機能の充実	1 3
	（3）その他	1 4

1 はじめに

高岡テクノドームは、県、高岡市、地元経済界が中心となり平成3年に設置されて以来、展示会等の開催や研究開発型企業の育成による産業の創出を通じて、県西部地域をはじめとする県内経済の活性化に大きく寄与してきた。

これまでも、新たなコンベンションや展示会などのニーズに対応するため、音響・映像設備の充実などを図ってきたが、近年では、5Gの設備や大規模会議に対応できる客席の整備など、新たな機能を求める声も上がっている。

また、高岡テクノドーム周辺は、北陸新幹線の新高岡駅に近接していることに加えて、近年、道路網整備による県内外からのアクセス向上、隣接する大型ショッピングセンターの増床など、立地環境の魅力が向上している。さらに、2024年（令和6年）3月の北陸新幹線の敦賀延伸を経て、更なる交流人口の増加が期待されている。

こうしたことから、多様なニーズに対応し、県民や企業にこれまで以上に親しまれ、県西部地域をはじめとする県内経済の活性化に資する拠点施設となるよう、新たに高岡テクノドーム別館を整備するものである。



1 はじめに

《別館の整備に向けたこれまでの取組みの経緯》

高岡テクノドーム別館については、令和2年7月に策定した「高岡テクノドーム別館整備基本計画」に基づき整備に取り組んできたが、資材価格の高騰や労務費の上昇などの社会経済情勢のなか、令和5年5月に建築工事の応札者がなく入札中止となって以降、関係者との調整を図りながら、改めて整備方針の検討を進めてきた。

令和6年2月から8月にかけては、現施設(本館)と別館を一体的な施設として整備の方向性を整理するために専門的・技術的な調査を実施し、調査報告書で示された産業展示やコンベンション等の利便性を重視する案を軸に、今後の整備を進めることとしている。

なお、別館整備基本計画に示された基本的な方向性は維持する一方で、策定後における県議会の議論や整備スケジュールの見直し等を経て、具体的な内容については一部変更があることから、本資料により現時点の整備方針を示すこととする。

令和2年7月 「高岡テクノドーム別館整備基本計画」策定

令和2年10月～3年3月 基本設計

(令和3年6月～12月 民間活力導入可能性調査)

令和4年4月～5年3月 実施設計

令和5年5月 別館(展示棟)建築工事の入札中止(応札者なし)

令和6年2月～8月 本館・別館の一体的な整備に向けた調査検討業務
(富山県高岡地区産業展示施設整備改修等調査検討業務)

令和7年1月～3月 利用促進ワークショップ

令和7年5月 改めて基本設計を公募

《関係の県HP》

<https://www.pref.toyama.jp/1301/sangyou/shoukoukensetsu/shoukougyou/technodome.html>

2 機能の拡充等の方向性（概要）について

県民に親しまれ、県西部地域をはじめとする県内経済の活性化に資する拠点となるよう、高岡テクノドームの機能拡充等を進めるにあたっての方向性（概要）は次のとおりである。

（１） 展示に係る施設・機能の充実

- ・別館を**現駐車場北側**に設置
- ・別館は、**最大1,200席程度の多機能型展示場**として整備
（産業展示イベントやコンベンション等における利便性を重視する）

（２） 集客・交流に係る施設・機能の充実

- ・別館に、**コンベンションの分科会や地域の産業界・住民の多様な活動に利用できる多目的室**を整備

（３） その他

- ・環境に配慮し、別館は**ZEB Oriented相当**のエネルギー消費性能を目指す
- ・地場産工芸品等を別館の建具等に可能な限り活用
- ・**2028(R10)年度中の別館の開館を目指して整備に取り組む**

3 高岡テクノドームの機能の拡充等の検討の背景・必要性

(1) 高岡テクノドームの概要

高岡テクノドームは、県、高岡市、地元経済界が中心となり、平成3(1991)年に設置されて以来、展示会等の開催や研究開発型企業の育成による産業の創出などを通じて、県西部地域をはじめとする県内経済の活性化に寄与している。

<施設概要>

①設置経緯

S60 地元経済界の要望により、展示施設計画が高岡市(1985)総合計画に盛り込まれる。

S62 県が「とやま産業活性化基盤整備構想」を策定し、(1987)産業創造センターの建設計画を発表
高岡市が県に「文化・産業デザインや大規模な展示を併せ持つ産業基盤施設」の高岡市への設置を要望

②竣 工 H3(1991)年2月

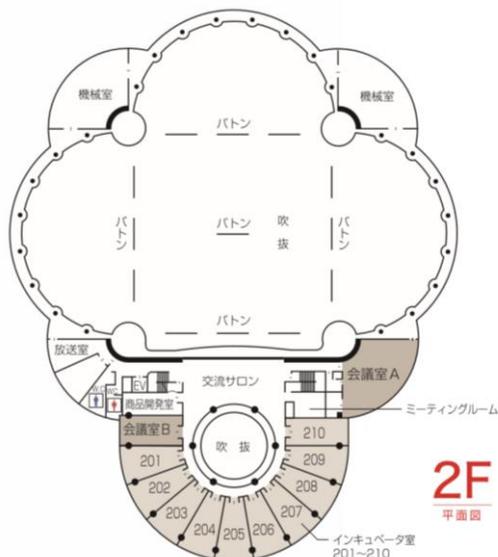
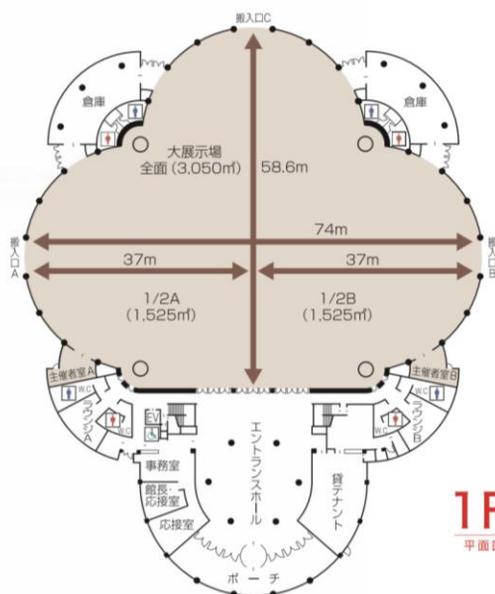
③建設費 約32億円

④運 営 一般財団法人富山県産業創造センター

⑤施設内容

敷地面積 38,400㎡ 建物延床面積7,080㎡

- ・大展示場 3,050㎡
- ・屋外展示場 1,000㎡(駐車場としても使用)
- ・インキュベータ室10室(約50㎡)
- ・会議室2室(144㎡、52㎡)、主催者室2室
- ・その他(応接室、交流サロン、自動販売機コーナー等)
- ・駐車場 1,000台(屋外展示場と重複あり)



3 高岡テクノドームの機能の拡充等の検討の背景・必要性

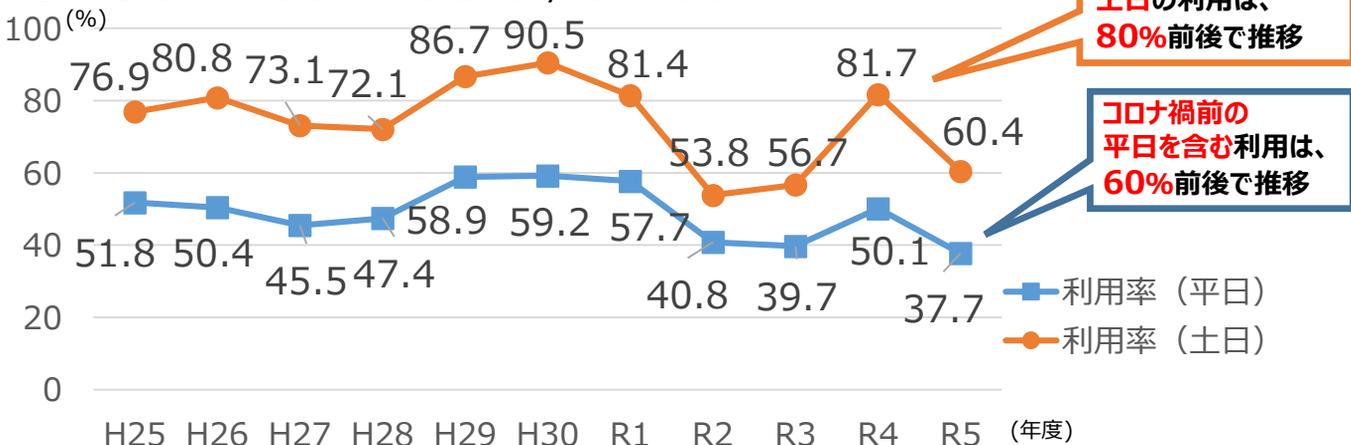
(2) 高岡テクノドームの利用状況

コロナ禍前における大展示場の利用率は、平日を含めて60%前後、土日は80%前後で推移しており、概ね順調な施設利用がなされてきた。

催事種類別の利用については、住宅設備、家具・電化製品、自動車関係の催事が多い。

コロナ禍直前の3か年を見ると、毎年、同時期の土日に開催されている催事が約半数を占めている。こうした定期的な利用は、安定的な施設利用につながっている一方で、土日の催事が固定的になっている面が見られ、新規イベントが入りにくい状況とも言えると考えられる。

① 大展示場の利用率（利用日数/開館日数）の推移



② 大展示場利用の催事種類別件数の推移

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
会議・集会・試験等	13	11	14	6	10	9	9	3	8	21	11	115
自動車	7	7	6	8	13	11	11	12	11	11	10	107
家具・建具・電化製品・インテリア	11	9	6	7	10	11	11	7	7	8	7	94
建設・住宅設備機器	7	9	8	11	9	9	8	3	5	7	5	81
骨董・美術品・宝飾	8	6	5	4	6	8	6	5	5	2	2	57
食品・農産物	2	2	8	9	8	5	3	1	1	2	2	43
各種産業機械・技術（農業機械含む）	3	3	2	4	4	2	3	1	0	3	2	27
趣味・娯楽・文化・スポーツ	2	3	3	2	2	2	2	2	1	-	-	19
総合（フェスティバル等）	1	2	3	3	1	2	1	0	0	0	1	14
その他	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
計	55	53	55	54	63	59	54	34	38	54	40	559

3 高岡テクノドームの機能の拡充等の検討の背景・必要性

③大展示場の利用例 (令和5年度 40件)

は例年同時期に開催

月	利用内容	月	利用内容	月	利用内容
4	家具・骨董展示即売会	9	住宅設備・住宅設備機器展示会	12	雑貨展示即売会
5	住宅・住宅設備機器展示会		中古車展示即売会	12	国家資格試験
	中古車展示即売会		住宅設備・住宅設備機器展示会	1	中古車展示即売会
6	家具展示即売会		就職説明会	2	中古車展示即売会
	農機具展示会		家具展示即売会	2	家具展示即売会
	中古車展示即売会	10	とやま環境フェア2023	3	住宅・住宅設備機器展示会
絵画展示会	家電製品展示会		就職説明会		
7	家具展示即売会		ガス機器等展示会		進学説明会
	中古車展示即売会		講習会(屋外:溶接)	中古車展示即売会	
	就職説明会		中古車展示即売会	就職説明会	
8	お盆用花卉即売会	11	家具・骨董展示即売会	家具展示即売会	
	中古車展示即売会		農産物展示即売会 (たかおか食彩フェア)	中古車展示即売会	
	防災訓練		地域商品券引換会場	興行	



④コロナ禍前後でも同時期に開催されている土日イベント例

- | | |
|----------------|-----------------|
| 4月: 住宅設備、自動車 | 10月: 住宅設備、家電 |
| 5月: 骨董、呉服、住宅設備 | 11月: 家電、農産物 |
| 6月: 家電、農業機械 | 12月: 家具、雑貨 |
| 7月: 仏具、家具 | 1月: 自動車 |
| 8月: 家具、花卉 | 2月: 自動車、住宅設備、家具 |
| 9月: 家具、自動車 | 3月: 住宅設備住宅設備 |

※3か年(H29~R1) 同時期開催の催事を記載

・定期的な利用は、催事の安定確保に寄与
 ・一方で、土日の催事が固定的になっている面が見られ、新規イベントが入りにくい状況

(参考) 入館者数の推移

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
291,217	320,416	277,810	279,837	300,523	307,621	251,145	120,217	121,019	163,370	163,776

3 高岡テクノドームの機能の拡充等の検討の背景・必要性

(3) 高岡テクノドーム周辺地域の環境の変化

高岡テクノドーム周辺は、新高岡駅に近接していることに加えて、高岡環状線の暫定2車線高架化などの道路網の整備によるアクセス向上や隣接の大型ショッピングセンターの増床など、周辺の立地環境の魅力が増しており、ファミリー向けや、県外からの誘客に繋がるようなイベント等のニーズが増大することも見込まれる。

これに加え、北陸新幹線の敦賀開業を経て更なる交流人口の増加も期待されるなど、このエリアが、県西部地域の活性化に資する拠点として、大きな可能性があると考えられる。



3 高岡テクドームの機能の拡充等の検討の背景・必要性

(4) 新たなニーズ等への対応

令和6年2月～8月に現施設(本館)と別館を一体的な施設として整備の方向性を整理するための専門的・技術的な調査を実施し、9月に調査報告書を公表して以来、県西部におけるコンベンション拠点としてのニーズに対応するため床面積の維持を求める関係者の意見や、可動式客席に関する県議会での議論を踏まえ、次のとおり産業展示やコンベンションの利便性を重視する方針を固めた。

高岡テクドームの整備方針について 富山県

産業展示等を重視する方向性で整備
(9月公表の調査報告書におけるケースBを軸に調整)

- 本館・・・方向性を踏まえて絞った強化
- 別館・・・床面積を維持、
将来的に可動式客席を
導入できる設計 担当:商工企画課

また、周辺環境の変化があるなか、産業展示や商談会のみならず、コロナ禍前には、アニメキャラクター、鉄道、eスポーツ関連等の親子や若者をターゲットにしたイベントが開催されたほか、コロナ禍後においても、回転寿司フェスティバルや地酒イベント、コスプレ関連イベントやパブリックビューイングなど、これまでにない新規イベントが開催されている。



ご当地回転寿司フェスティバル
2024.10.31～11.4



かぼふえす (コスプレ関連)
2024.6.1

4 機能の拡充等の方向性について (1) 展示に係る施設・機能の充実

(1) 展示に係る施設・機能の充実

展示に係る施設・機能の充実のため、別館を整備する。

新高岡駅や近隣のショッピングセンター、現在の高岡テクノドーム(本館)の大展示場との円滑な動線を確保するとともに、現施設の特徴である大規模駐車場の利便性への影響を最小限に留めるため、駐車場の北側に整備する。

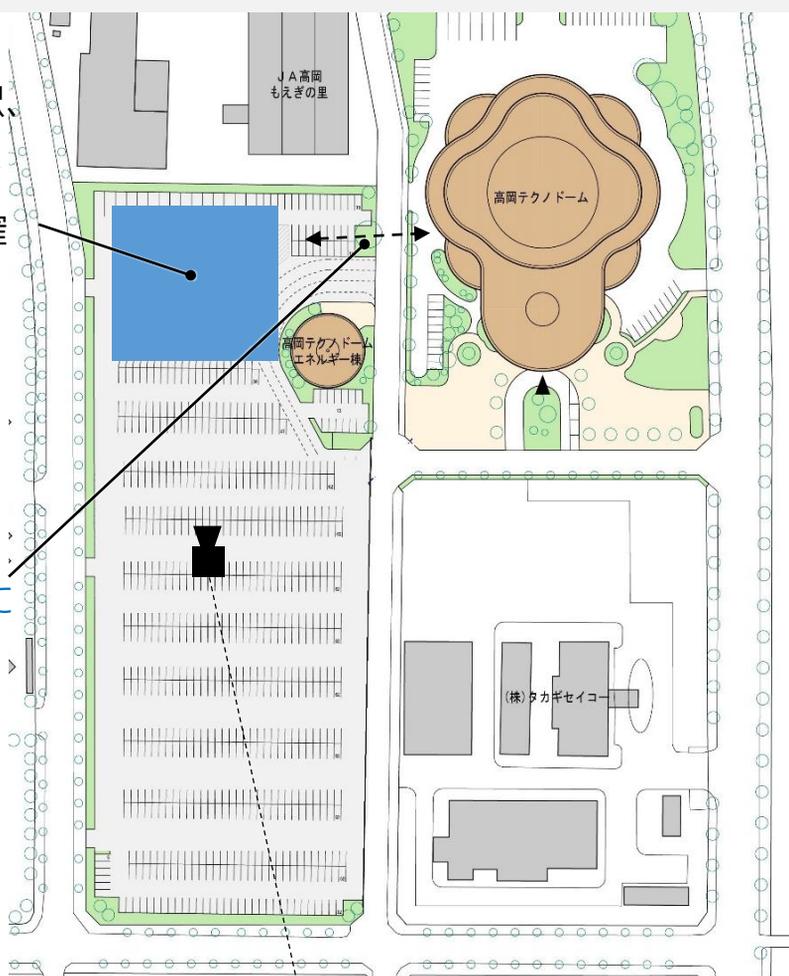
なお、別館の整備にあたっては、ハード、ソフトの両面から現在の高岡テクノドームとの一体的な利用に配慮する。

周辺の施設である新高岡駅、イオン等及び本館や駐車場からの来場者の円滑な動線を確保するため、駐車場の北側に整備

現在の高岡テクノドームと整備する別館の一体的な利用に配慮(別途、本館につながる渡り廊下の整備を想定)

※横断する市道の取扱いは今後地元市と調整

駐車場南側から北側を見た写真



4 機能の拡充等の方向性について (1) 展示に係る施設・機能の充実

別館は、建設場所等のスペースも考慮し、最大1,200席程度の展示場（950㎡以上の多機能型）を備えることとし、単独での多様な活用に加え、2館体制となるメリットを最大限に活用し、現施設（本館）の大展示場との連携による大型催事等にも対応する。

別館の展示場 ※他県の1,000人規模ホール等の例（イメージ）

新潟県：朱鷺メッセ（メインホール）

収容1,000人※
※椅子のみ配置の場合
面積1,133㎡



朱鷺メッセHPより引用

宮城県：仙台国際センター(大ホール)

収容1,000人
面積1,150㎡

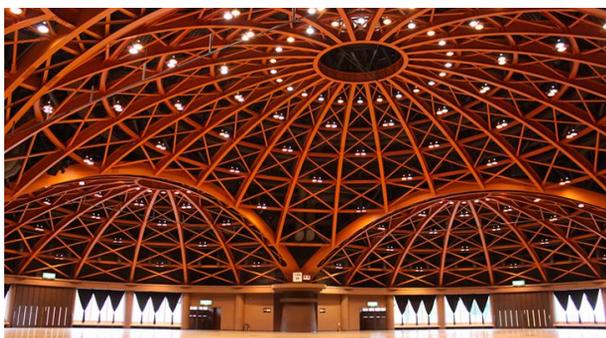


仙台国際センターHPより引用

連携

- (例1)現在の大展示場で展示会、別館で商談会
- (例2)現在の大展示場で会議、別館で分科会等
- (例3)両館で大型イベント開催（5G同時中継）

高岡テクノドーム(本館)の大展示場



収容3,500人（椅子席配置時）
面積3,050㎡



2018.11ねんりんピック開始式（1,800席配置）

4 機能の拡充等の方向性について (1) 展示に係る施設・機能の充実

別館の展示場は、eスポーツの大規模大会の開催、パブリックビューイング、バーチャル技術と連携した産業展示などに対応するため、大容量通信環境を備えるとともに、その特性を活かす大画面・高精細映像装置等、多様なイベント等に対応可能とする。

また、冷暖房設備や空調、照明、床機能等も省エネかつ利便性の高いものを導入する。

(例) 大容量通信等の特性を活かす
高精細映像装置など

300～400インチの複数スクリーンを備え、
多視点映像や音声などの大容量情報にも対応

eスポーツ大会の開催

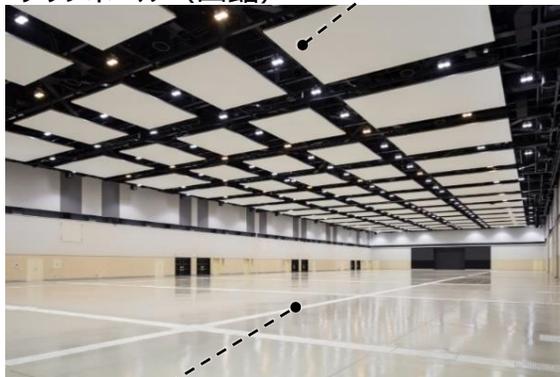
2019.9/28-29
5G Coliseum
(高岡テクノドーム)

300インチ×2スクリーン



(例) 高効率ヒートポンプ空調や
LED照明などの導入

テクノホール (西館) LED照明



床下に電気ピット、電気配線用共同溝、給排水ピット

※床暖房については導入コストと必要性等を踏まえて検討

別館の整備に伴い拡充した機能を活かし、住宅設備、家具・電化製品、自動車関係の催事のほか、産業や観光などの振興につながる全国的なコンベンション、eスポーツの全国大会、エンターテインメント性が高いイベントなど、幅広い世代が参加できるものの誘致に取り組む。

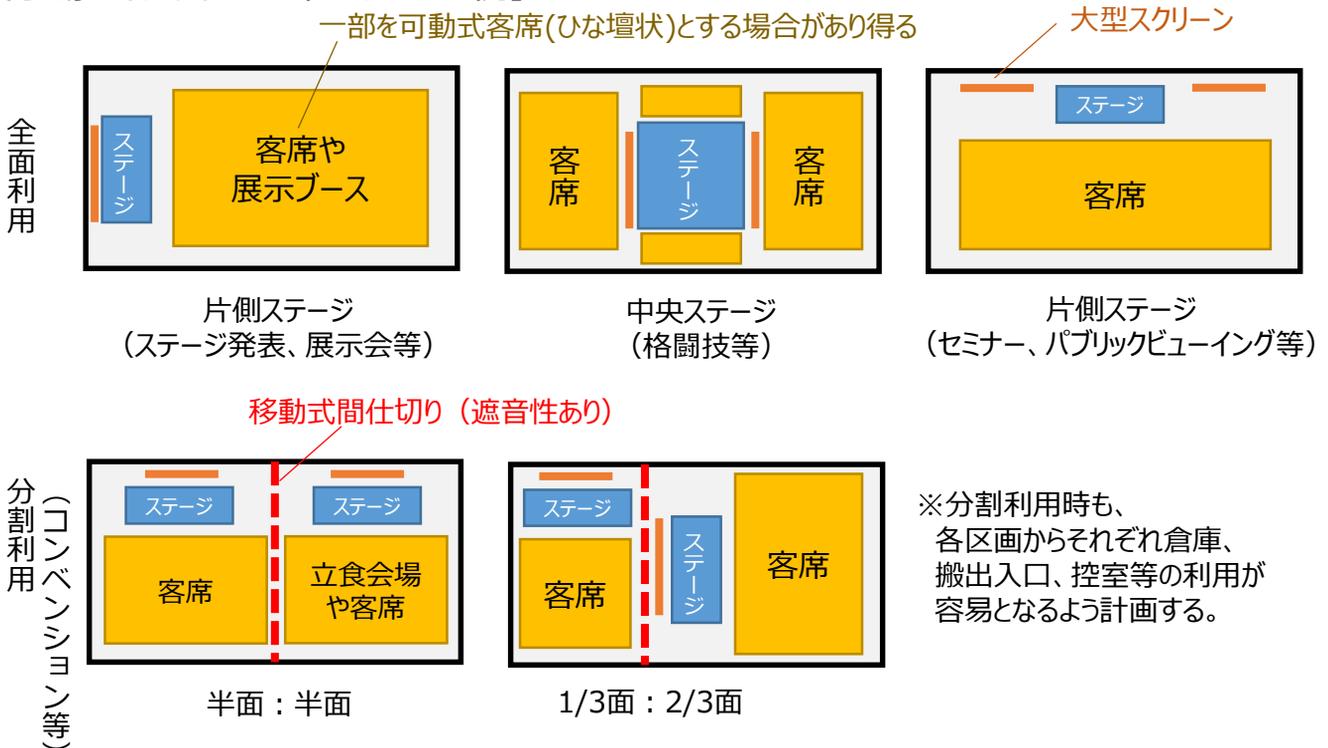
4 機能の拡充等の方向性について (1) 展示に係る施設・機能の充実

別館の展示場は、多様なイベントに合わせて柔軟なレイアウトが可能とし、可動式客席(ひな壇状)の将来的な導入を見据えて予め収納スペースを確保しつつ、全体的な利便性にも配慮する。

また、コンベンション等における複数会場の同時利用を想定し、移動式間仕切りにより分割したレイアウトが可能なものとする。

※各レイアウトを想定してバトン類(大型スクリーン、照明、音響設備等)を適切に配置することとする。

【展示場レイアウトの基本パターンの例】



参考：可動式客席の利用例
コトブキシーティング社のWebカタログより高崎アリーナの事例



参考：移動式間仕切りの利用例(テクノホール西館(新館))
天井面まで完全分割 → 全面・3/4面・1/2面・1/4面で利用可能

4 機能の拡充等の方向性について (2) 集客・交流に係る施設・機能の充実

(2) 集客・交流に係る施設・機能の充実

別館には、展示場と併せて、集客・交流に係る施設・機能の充実のため、多目的室(分割により2室以上、全室の合計が240㎡以上)を整備する。

多目的室は、日常の市民利用など単体での利用のほか、展示場と連携した利用(コンベンションの分科会会場など)を想定し、必要な規模に応じて室の数や広さを柔軟に変更できるよう、移動式間仕切りにより分割して利用可能とする。

また、コミュニケーションスペースとして会議室等に利用するほか、臨時的なものづくり産業の発信・体験等にも対応できるよう、1室には手洗い場等の必要な機能を備える。

■ 構成パターンの例 (1室を2分割して2室とする計画の場合)



一体利用 (多人数向け)



分割利用 (室数確保、少人数向け)

コミュニケーションスペース(イメージ)



《臨時的なものづくり産業の発信・体験等に利用する場合のイメージ例》

- ①親子などが気軽にもものづくり体験(伝統工芸、最新技術を活用したもの等)
- ②伝統工芸から最新技術による製品まで、県西部の産業技術の発信・体験

その他、事務室(8名程度収容)など管理部門向けスペースや、施設利用者向けの休憩スペースなど必要な機能を設ける。

4 機能の拡充等の方向性について (3) その他

(3) その他

①地場産工芸品等の活用

今回のテクノドーム別館の整備にあたっては、地場産工芸品等を壁面や建具等に可能な限り活用するものとする。

テクノホール西館の例



高岡鋳物、庄川挽物木地を利用した扉の取っ手



越中和紙を装飾した壁



県産木材を利用した
テーブルセット



城端絹織物を挟んだ
特殊ガラス

高岡テクノドームの例



高岡鋳物を利用
した扉の取っ手

②現施設の機能強化の検討

本館は設置から34年が経過しているため、必要な点検・修繕は行いつつ、魅力向上、別館との相乗効果発揮に向けた機能の充実や大規模修繕を検討する。

別館の整備状況を見ながら、利用者や施設所有者である運営財団の意見等も踏まえ、可能なものから実施できるよう進める。

駐車場については、小さな子ども連れや高齢者、障がいのある方も駐車しやすいスペースを設けるなど配慮しながら、駐車台数確保、安全対策に努める。

- (例)
- ・省エネルギー化（LED照明の導入、断熱・遮熱性能に優れた窓ガラスの導入など）
 - ・女性トイレの増設、ユニバーサルトイレ、授乳室等の整備
 - ・冷暖房設備の改修
 - ・パントリーの設置
 - ・駐車場の区画整理・ライン引き直しによる駐車台数確保
 - ・安全対策のための誘導標示や車止めの設置 等

③その他

屋外に憩いの場となる空間の設置についても検討する。

近隣の施設と連携し、式典やレセプション会場としての活用も見据えた施設となるよう必要な機能について検討する。

○諸室面積表

機能	諸室名	諸室の数	面積及び利用人数	室の使い方等	特記事項
展示機能	多機能型展示場	1室 (分割機能あり)	950㎡以上 かつ 最大1,200席以上	<p>《利用の仕方》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一体利用と分割利用 ・分割利用は、1:1と1:2の2パターンの分割が可能 <p>※ただし、コンベンション等における利便性を踏まえ、異なる分割パターンの提案がある場合は、これに限らない</p> <p>《開催想定イベント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産展/販売会、コンベンション/講演会/会議、小規模演劇、eスポーツ、スポーツ（ボクシング/プロレス等）、音響使用コンサート、パブリックビューイング、飲食イベントなど <p>《分割時の利用想定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産展やコンベンション等のイベントについては、遮音性のある間仕切りにより分割して各エリアを同時に利用できる必要がある。（異なる主催者が同時利用する場合も想定する。） <p>なお、音響設備を使用するコンサートなどについては、分割による同時利用を見込まない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・天井高：面積、利用用途、防音性等を考慮し、適切な高さ（12m以内）とすること。 ・無柱空間とすること。 ・可動間仕切りにより複数区画に分割できること。 ・間仕切り・壁：防音仕様（各区画内の吸音性が高いなど区画外への遮音効果が高いもの） ・会議、レセプション利用にもふさわしい空間（天井、照明、壁、床）とすること。 ・各区画にあわせ主催者控室及び搬入口を設けること。 ・各区画について、会議での利用に配慮した形状であること。 ・床耐荷重：トラックによる直接搬入が可能であること。（5 t/㎡） ・照明・吊物バトンについては、開催想定イベントと分割時の利用想定を踏まえて機能的な位置に配置すること。また、主催者による照明・音響設備等の持込みも想定すること。なお、必要数等については、費用と利便性を踏まえて検討すること。 ・電気、給排水等設備設置（ピット）を適切な位置に配置すること。 ・物産展やコンベンションなど、主催者による音響設備の持込みが想定されないイベントに対応できる標準的な音響設備を有することとし、それらを適切な位置に配置すること。また、主催者が音響設備を持ち込む場合も想定すること（設置場所や電源等）。 ・将来的に可動式客席（可搬式のタイプ）を導入する全体計画とし、予め収納場所とするスペースを確保しておくこと。 ・ステージは、組立式のものなど、自由な配置や倉庫等への収納が可能であること。
	搬入口	2か所以上	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・トラックを展示場に横付け（雨天時も想定）又は場内に直接乗り入れて搬入出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分割利用時を想定して各区画に1か所ずつ設けること。 ・搬入口脇に手洗い場を設けること。
	主催者控室 (展示場用)	4室以上 (分割による確保も可)	適宜 (各室10㎡程度は確保)	<ul style="list-style-type: none"> ・展示場を利用するイベント主催者が使用する。 ・イベントの演者やゲスト(VIP含む)用の控室として使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的な用途や分割利用を考慮して使い勝手のよい諸室の配置・構成とすること。 ・VIP用として1室は専用トイレを備えること。 ・一般の施設利用者との動線の切り分けに配慮すること。 ・各室内の遮音・吸音に配慮すること。
	倉庫 (展示場用)	適宜	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・展示場内で利用する備品等を収納する。 <p>《備品等の例》</p> <p>スタッキングチェア、長机、ステージ、ステージ階段、演台、シンク、展示パネル、ベルトパーテーション、サインスタンド等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設規模や機能に応じたものを設けること。 ・大規模な会議・集会に対応しうる数の机、椅子及び必要な備品（パーテーション等）を収納できるものとし、機能的かつ使いやすい配置（分割利用時も想定した配置）、構造とすること。
	パントリー	1室	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・レセプション等におけるパーティーサービスに対応する。（イベント主催者の利用を想定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・レセプション等での利用を想定し、パーティサービスに対応できること。 ・二層シンク、電気コンロ(IH)二口、配膳台、冷蔵庫、製氷機を配置でき、外部から直接出入り可能な勝手口を設けること。 ・グリーストラップを設けること。
	照明音響調整室	1室	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・展示場内の照明・音響の調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示場内の状況を見渡せる場所に設けること。
	給湯室 (展示場用)	1室	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント主催者又は施設管理者が使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・控室に近接して計画すること。
	可動式客席用 収納スペース	適宜	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に可動式客席（可搬式のタイプ）を導入する場合に備え、収納場所とするスペースを確保しておく。 <p>※導入前は該当スペースを展示場の一部又は倉庫として利用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・可動式客席の導入を前提とした全体計画とすること。

機能	諸室名	諸室の数	面積及び利用人数	室の使い方等	特記事項
集客・交流機能	多目的室	2室以上 (分割による確保を想定)	全室合計が240㎡以上かつ 一体利用により最大100席以上を満たす	《利用の仕方》 ・一体利用と分割利用 (可能な限り大人数に対応する場合と、複数の会場を同時に利用する場合に対応する) 《開催想定イベント》 ・講演会/会議(コンベンションの分科会など) ・各種ワークショップ(ものづくり体験など) ・ギャラリー展示など 《分割時の利用想定》 ・講演会などシングル間仕切りの遮音性能で対応可能なイベントの同時利用は可とする。	・コンベンションの分科会利用を想定し、使いやすい各室の構成とすること。 ・ものづくり体験などの利用を想定して、うち1室には手洗い場を設けること。 ・隣室や廊下等に音が漏れないよう遮音に配慮した計画とすること。
	倉庫 (多目的室用)	2か所以上	適宜	・多目的室内で利用する備品等を収納する。 《備品等の例》 スタッキングチェア、長机、演台等	・施設規模や機能に応じたものを設けること。 ・講演会・会議等に対応しうる数の机、椅子及び必要な備品を収納できるものとし、機能的かつ使いやすい配置(分割利用時も想定した配置)、構造とすること。
その他	エントランス	適宜	適宜	・受付スペースやチケットもぎりの待機場所として利用する。 ・ポスター展示等に利用する。 ・施設利用者がくつろぐ空間として使用する。	・メインとなる出入口には風除室を設けること。 ・利用者の施設内の移動をスムーズに促すよう、十分な受付・案内機能を有すること。
	ホワイエ	1室	適宜		
	自動販売機スペース	1か所	適宜	・施設利用者が使用する。	・ホワイエ又は休憩スペースに近接していることが望ましい。
	休憩スペース	適宜	適宜	・施設利用者がくつろぐ空間として使用する。	
	商談室	2～3室程度	各室6～8人程度	・商談打合せ等に利用する。	・隣室や廊下等に音が漏れないよう遮音に配慮した計画とすること。
	廊下		適宜	・各室への動線及び避難経路として適切な配置とする。	・関連法令を踏まえた計画を行うこと。 ・ユニバーサルデザインに配慮した計画とすること。 ・施設の構造によって適切にエレベーターを計画すること。
	階段		適宜		
	機械室	適宜	適宜		・空調設備や電気設備等については、新展示場で独立して成り立つよう、新たに機械室を設置すること。
	事務室	1室	8名程度収容	・施設の受付・案内機能の拠点として使用する。	・受付カウンターを設けること。 ・全館放送用の放送設備を計画すること。
	職員更衣室	適宜	適宜	・施設管理者が使用する。	・男女別に計画する。
	給湯室 (事務室用)	1室	適宜	・施設管理者が使用する。	・事務室に近接して計画すること。
	主催者控室 (汎用)	2室程度	10㎡程度	・多目的室を利用するイベント主催者が使用する。 ・施設運営者が応接や打合せに使用する。	・多目的室までの経路は一般の施設利用者と動線が重なっても構わないこととする。
	倉庫(汎用)	適宜	適宜	・施設管理者が使用する書類や事務用品等を収納する。 ・清掃用具等、各所に必要な備品類を収納する。	
	トイレ	適宜	適宜	・施設利用者が利用する。	・トイレは、類似施設の利用規模に見合う適正な数を設けること。 ・男女別、併せてユニバーサルデザイントイレを計画すること。
授乳室	適宜	適宜	・施設利用者の授乳室として使用する。	・簡易ベビーベッド、ベビーチェア(授乳イス)、オムツ台、湯沸しを設置する。	
ゴミ置き場	1か所	適宜	・施設管理者が使用する。	・周辺環境及び回収車の寄り付きに配慮した計画とする。 ・立水栓を設けること。	
自転車置き場	1か所	15台程度	・施設利用者が利用する。		